

再エネ賦課金制度による電気料金への負担について

～資源エネルギー庁ホームページ 及び一般家庭の実例など～

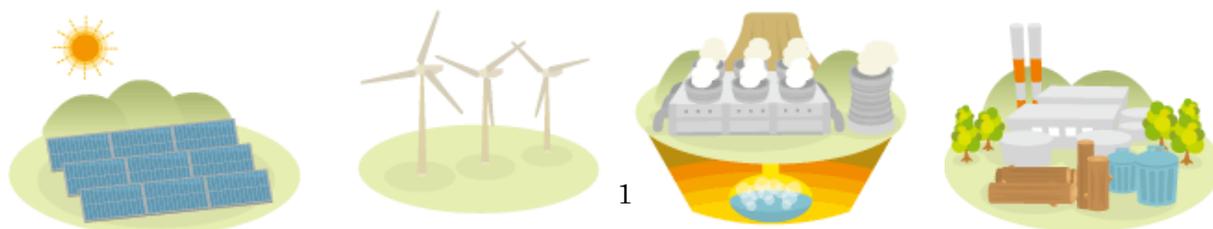
1. 再生可能エネルギーの固定価格買取制度の仕組み

「再生可能エネルギーの固定買取制度」は、再生可能エネルギーで発電した電気を、電力会社が一定価格で一定期間買い取ること を国が約束する制度です。電力会社が買い取る費用の一部を電気利用者から賦課金という形で集め、コストが高い再生可能エネルギーの導入を支えています。この制度により、発電設備の高い建設コストの回収の見通しが立ちやすくなり、より普及を進めるための制度です。



2. 対象となる再生可能エネルギー

「太陽光」「風力」「小水力」「地熱」「バイオマス」の5つのいずれかを使い、国が定める要件を満たす事業計画を策定し、その計画に基づいて新たに発電を始められた事業者が対象です。発電した電気は全量が買い取り対象になりますが、住宅の屋根に載せるような10kW未満の太陽光の場合は、自分で消費した後の余剰分が買い取り対象となります。



3. 再生可能エネルギー発電促進賦課金【再エネ賦課金】とは

固定価格買取制度で買い取られる再生可能エネルギー電気の買取りに要した費用は、電気の利用者から広く集められる**再エネ賦課金**によってまかなわれます。再生可能エネルギーで発電された電気は、日々使う電気の一部として供給されるため、再エネ賦課金は毎月の電気料金とあわせて徴収されています。

電気ご使用量のお知らせ

エネ庁 タロウ 様

●●年×月分

ご使用量 000 kWh	ご請求予定額 0,000円
当月指示数 000	基本料金 000円
前月指示数 000	第1料金 000円
差引 000	第2料金 000円
	第3料金 000円
	燃料費調整額 0円
	再エネ賦課金 0円

電気料金徴収額

エネ庁 タロウ 様

●●年×月分

徴収金額 0,000円

△に電力株式会社
○に営業所

検針票サンプル

再エネ賦課金

電気料金 + 再エネ賦課金 = 月々の電力会社へのお支払い

〈再エネ賦課金の算定方法〉
(2019年5月検針分の電気料金から適用される単価)

再エネ賦課金 = ご自身が使用した電気の量 (kWh) × **2.95円/kWh***

※ただし、大量の電力を消費する事業所で、国が定める要件に該当する方は、再生可能エネルギー賦課金の額が減免されます。

4. 一般家庭の再エネ賦課金の負担の実例について

(1) 電気料金(東京電力・電気上手)と再エネ賦課金の実例

実例として、東海村在住者(ケース A)及び大洗町在住者(ケース B)の場合を下の表-1 に示します。これから、

- ① 賦課金の増大は、ケース A が 2 年半で 6%以上、ケース B が 6 年半で 12% の増大になっています。
- ② 再エネ賦課金単価は、ケース A が 2 年半で約 2 倍、ケース B が 6 年半で 10 倍の増大となっています。

表-1 東海村在住者(ケース A)及び大洗町在住者(ケース B)

	ケース A		ケース B	
	2015 年 (平成 27 年) 11 月分	2018 年 (平成 30 年) 5 月分	2012 年 (平成 24 年) 11 月分	2018 年 (平成 30 年) 5 月分
電気使用量	404kWh	380kWh	520kWh	539kWh
電気代合計	9,002 円	8,624 円	9,987 円	11,711 円
再エネ賦課金	638 円	1,102 円	145 円	1,563 円
再エネ賦課金 単価	1.58 円/kWh	2.90 円/kWh	0.28 円/kWh	2.90 円/kWh
再エネ/電気 代	7.00%	13.50%	1.50%	13.50%

(2) 再エネ賦課金の単価の推移

- ① 再エネ賦課金は、法令により全国一律の「単価」が決められています。使った電気使用量にこの単価を掛けて金額が決まります。
- ② 再エネ賦課金は、再エネの導入が進むにつれて年々上昇を続けています。
- ③ 制度が始まった 2012 年度には 1kWh 当たり 0.22 円でしたが、6 年間で 10 倍以上にまで上昇しています。
- ④ 電力中央研究所の試算によると、2030 年度の日本全体の賦課金は 3.6 兆円になる見通し、2017 年度には 2.1 兆円だったので、さらに大幅な値上がりが予想されます。

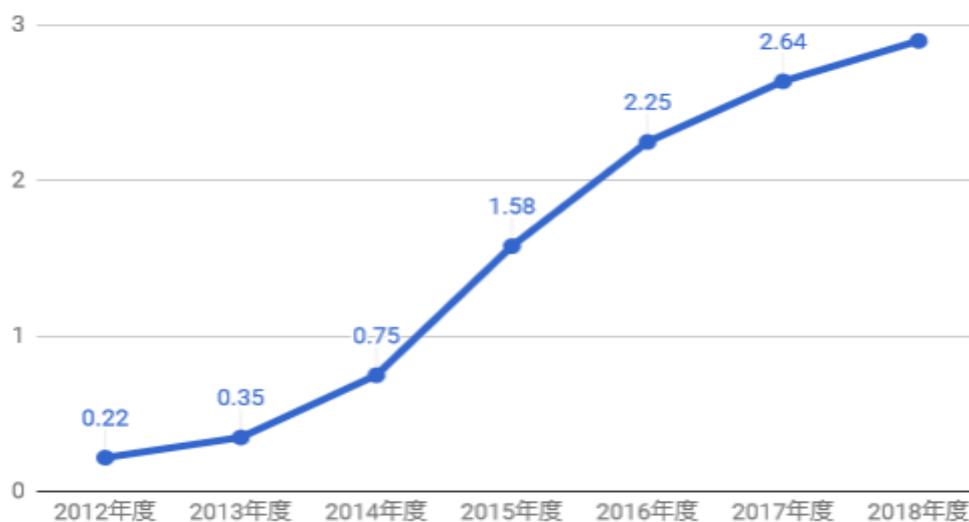
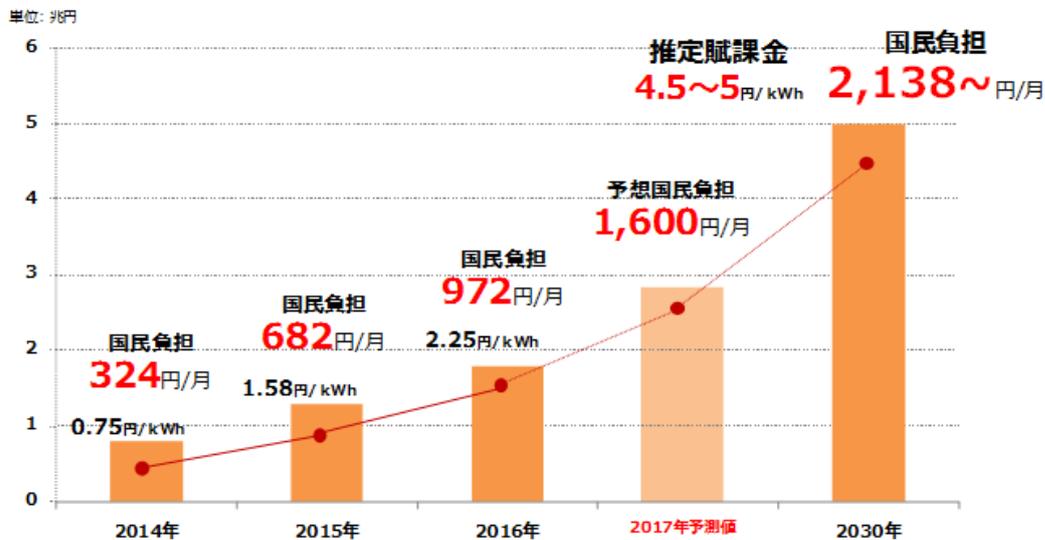
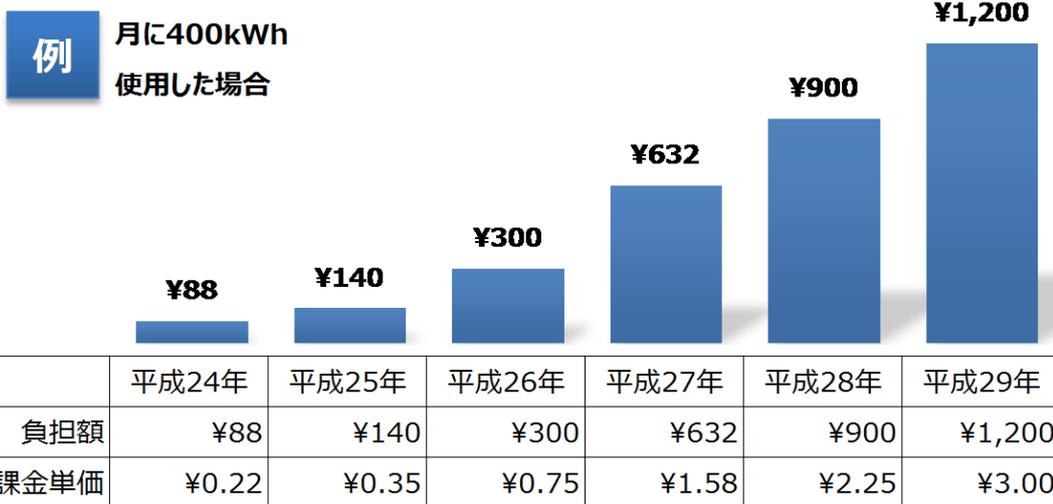


図-1 再エネ賦課金の単価の推移

(3) 他の資料による一般家庭の再エネ賦課金の事例

一般家庭の電気料金に占める再エネ賦課金は、2030年時点において賦課金単価を4.5～5円/kWhに推定すると、毎月2,130円以上の負担増となります。

ご使用量	645kWh
請求予定金額 (うち消費税等相当額)	18,145円 1,344円
基本料金	1,123円20銭
電1 1段料金	2,331円60銭
力1 2段料金	4,663円80銭
量1 3段料金	10,325円85銭
燃料費調整	-1,264円20銭
再エネ発電賦課金	1,019円
口座振替割引	-54円00銭



出所: 経済産業省2016・電力中央研究所2015のデータを基に、自社独自に作成